



ロータリーは世界をつなぐ ROTARY CONNECTS THE WORLD

2019-20年度 RI会長／マーク・ダニエル・マローニー

RI.D2590ガバナー／轟 淳次

横浜旭RC会長／佐藤 真吾

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋 3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



被災地の子ども達にXマスプレゼント



在日外国人日本語学習支援



チャリティーコンサート

2019年8月21日 第2394回例会 VOL. 51 No. 6

■司 会 SAA 目黒 恵一

■開会点鐘 会長 佐藤 真吾

■斉 唱 我等の生業

会員数	27名	本日の出席数	22名
本日の出席率	88%	修正出席率	95.65%

■本日の欠席者

青木、市川、福村



■8月皆出席者表彰

関口 友宏会員	45年
田川 富男会員	7年
二宮麻理子会員	6年
大川 伸一会員	3年
目黒 恵一会員	2年

■会長報告

二週間ぶりの例会です。皆様お盆休みはいかがお過ごしでしたでしょうか？

終戦から74年を迎えた15日、政府主催の全国戦没者追悼式が日本武道館で開かれまし

た。令和最初の追悼式には、天皇、皇后両陛下や安倍首相、全国の遺族ら6,497人が参列し、先の大戦の戦没者310万人の冥福を祈りました。初めての参列となった天皇陛下は、「戦後の長きにわたる平和な歳月に思いを致しつつ、ここに過去を鑑み、深い反省の上に立って、再び戦争の惨禍が繰り返されぬことを切に願う」と、上皇さまが使った「深い反省」との表現を踏襲し、平和を思う気持ちを示されました。74年も経って、未だ多くの人々の心に消えない傷跡を残している戦争。今、東アジアでも緊張が高まっていますが、争い事からは何も生まれません。二度と起こらない事を切に願うばかりです。

ここで、戦時中の東京ロータリークラブの動向についてご紹介させていただきます。

<東京ロータリークラブの解散>

大陸での戦火拡大と対米関係の悪化に伴い、日本のロータリーに対する攻撃は一段と激しくなった。クラブの例会に憲兵や特高がしばしば臨席し、また、そこでのスピーチもあらかじめ警察に届け出なければならなくなった。新聞紙上でも、一部では「米国のスパイ」呼ばわりされたうえ、「解散すべし」と指弾される始末であった。

そこで日満ロータリー連合会では、ロータリー組織を国家単位に改組することとし、もし、これが受け入れられなければRIから脱退する方針を定め、傘下の各RCに通告した。しかしながら世情の圧力は、ロータリアンの力

ではすでに支えきれないところまできていた。遂に日満連合会会長の米山梅吉が軍当局に呼び出され、ロータリーの存在は「大日本帝国に対する反逆である」とまで極言されるに至った。

1940年8月8日、まず、静岡RCが解散。わが東京RCでは8月14日の例会で解散問題がとりあげられたが、なお、賛否は分かっていた。8月19日の岡山、8月21日の京都、9月5日の神戸、今治、帯広と相次いで解散を決定。東京RCも遂に9月11日の例会で解散を決議した。この時、創立者の米山梅吉は重い足をひきずるようにして壇上に立ち、「奉仕の理想はあくまでも堅持したい」と最後の挨拶をした。東京RCが誕生して、ちょうど20年がたっていた。

＜水曜クラブの例会＞

東京RCの会員たちは、組織解散後も会合を続け、2カ月後の1940年11月15日、新しい組織として水曜クラブをつくることを決めた。12月4日の設立総会には、かつての会員190名が参加。従来通り奉仕の精神で臨むこととなったが、国際ロータリーとの関係は断たれており、地区大会なども開かれるわけではなかった。なお、他の都市においても同様で、名称のちがいはあったが、同じ精神と目的でクラブ活動は行われていた。

水曜クラブ発足から最初の2年のあいだは比較的平穏に過ぎ、毎週水曜日には例会を開くことができた。一時消えていたバースデーケーキも復活。1941年2月には、ロータリーの創立を記念して、ささやかながら家族会が開かれたほどである。出席率もほぼ7割を維持することができた。

しかしながら1941年12月、日本は太平洋戦争に突入。そのため、物資の統制は強化され、週報用紙の入手すら困難になる。会員の誕生祝いにはバースデーケーキに代わり水飴を贈ることになったが、それすらやがてできなくなってしまう。さらに1945年5月には、会場の帝国ホテルが罹災したため、例会も一時中断。場所を日本工業倶楽部に移して再開したものの、出席者は、それぞれ弁当持参というありさまであった。

戦時中の奉仕活動は、主に傷病兵や留守家族の慰問、孤児の救済にそそがれた。

※以上、東京ロータリークラブHPより引用
そして今日は、吉原さんの終戦記念卓話です。戦後生まれの私にとって、当時の実体験

が聞けるとても貴重な機会です。吉原さんよろしくお祈りします。

○地区関係

1) 2019-20年度クラブ基盤管理セミナー PART II (戦略・危機管理・Rの友)

日時 8月22日(木) 15:00～18:00

場所 メモワールプラザソシア 21

佐藤真が出席して参ります。

2) クラブ米山記念奨学委員長会議

日時 8月29日(木) 15:00～17:00

場所 メモワールプラザソシア 21

青木米山記念奨学副委員長に出席をしていただきます。よろしくお祈りします。

○クラブ関係

1) 第5回旭区誕生50周年記念事業実行委員会の出席依頼が来ています。

日時 8月27日(火) 14:00～15:00

場所 旭公会堂講堂

佐藤真が出席して参ります。

2) バナーデザインについて

現在のバナーのロゴを公式ロゴに変更するのに合わせて、デザインの変更を検討しています。5つのデザイン案とバナーの由来を確認していただき、良いと思う案に記しを付けて下さい。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜緑ロータリークラブ

日時 9月18日(水)夜間移動例会 屋形船

点鐘 午後6時15分

場所 横浜みなとみらいふかり棧橋

日時 10月23日(水)→26日(土)地区大会

○横浜日吉ロータリークラブ

日時 9月18日(水)

新会員イニシエーションスピーチ

日時 9月24日(水)夜間例会

米山奨学生チミルシナタムラタさんをシ囲んでネパール料理を楽しむ会

■「青少年交換派遣学生帰国報告並びに来日学生歓迎会開催の件」

日時 8月31日(土)

場所 宗教法人泉谷寺 小机幼稚園

1年間の交換留学を終えて帰国した学生の成果発表

■「危機管理ハンドブック配布」

ガバナー事務所

青少年プログラムにおける危機事案が発生した場合、申し立てを受ける等した第一認知者から地区、RIへの報告が迅速かつ円滑に行

われることが必要となります。そこでこの度、当地区危機管理委員会において危機管理ハンドブックを配布させて頂くとともに危機事案発生の際の報告についてお願いさせて頂くことになりました。速やかなご報告をお願いする次第です。

■「里山ガーデン時計塔設置工事・贈呈式」

50周年記念委員会 太田 勝典

8月26日(月)～27日(火)の二日間で工事を完了させる運びとなりました。つきましては会員の皆さんへのご披露を兼ね、横浜市への贈呈式を行います。9月8日(日)午後12時から30分を予定しております。多数のご出席をお願い致します。

■災害対策委員会 五十嵐 正

10月2日、二俣川サンハートホールにおいて「気候変動と防災」について、横浜地方気象台の中根氏をお迎えして公開講座を行います。経緯は、災害対策委員の二宮登会員は、県から地球温暖化防止活動推進委員に委嘱されて、県主催の講演会に出席した折に、横浜気象台の中根氏の講演を聞き、内容に感激し、卓話をお願いしたところ、ロータリーだけでなく、旭区一般の方々にも講演できる機会にして欲しいという事でした。

そして先週の理事会に審議して頂き、ロータリーの公開講座として行う事に同意を得られました。今後は公共イメージ委員会と協力して広報活動に努めていきたいと思っております。多くの一般の方々にお越しいただけるよう、皆様のご協力をお願い致します。

■防災一口情報 新川 尚

○宮城県塩釜市東日本大震災・復興関連情報
監修 元横浜旭 RC 所属 須藤 亘

【東日本大震災の概要】

- ・地震名／東北地方太平洋沖地震
- ・発生時刻／平成23年3月11日午後2時46分18秒
- ・震源／三陸沖
(牡鹿半島の東南東約130KM 付近)
- ・震源の深さ／24KM
- ・規模／マグニチュード9.0
- ・最大震度／7 (栗原市築館)

【塩釜市における震災の概要】

- ・最大震度／6強
- ・津波の到達時刻／午後3時15分(引きはじめ)
- ・津波の高さ／4M
(津波波高：塩釜港西埠頭の潮位計が計測した津波の高さ) 午後4時02分

○塩釜市の被災状況について

【避難所および避難場所の運営状況】

月 日	避難所箇所数 (箇所)	避難者数	備考
平成23年3月11日	39	8,047	
3月12日	46	8,771	(最大)

震災前に設定されていた指定避難所は14カ所、収容可能人数は合計で**4200人**。

一方、大震災の最大避難者数は**約8771人**と想定**の2倍を超える避難者**。

→施設と物資が対応できず課題に。

【避難所および避難場所の運営状況】

(単位:千円)

項目	緊急金額	内訳
交通関係	25,141	市営自動車
ライフライン施設	933,490	水道、都市ガス、通信・放送施設
保健・医療福祉施設	847,689	医療機関、民間保育、保健センター、児童館等
建築物	61,277,613	被災建物
民間施設等	12,800,000	工業団地、商業施設
交通関係施設	16,631,374	道路・橋りょう、港湾施設、下水道施設、その他公共土木施設等
農林水産関係	27,792,949	共同利用施設、防災関連施設等
文教施設	210,977	私立・公立学校、その他文教施設
文化財	5,825	芸術文化財等
建築物修理・基礎処理施設	90,918	清掃工場
その他の公共施設	1,397,929	観光施設、消防・防災施設、警備関係施設等



【人的被害】

東日本大震災では、塩釜市民の方47人が津波の犠牲になり、18人が関連死と認定され、

合わせて65人の方がお亡くなりになりました。

○被害を受けての反省と課題

宮城県沖地震（連動型）を第三次地震被害想定としていたが、想定以上の地震と津波が発生しました。被災を受けての課題を明確とし、次のような対策を行い、防災の強化に取り組んでおります。ここでは一部の課題・対策を紹介させていただきます。

【連絡・通信手段】

- ・固定電話、携帯電話が不通になり、指定避難所や防災関係機関の連絡に支障が生じた。
- ・浦戸地区との連絡手段が確保できなかった。
- ・防災行政無線が聞き取りにくい地域があった。
- ・沿岸部の防災行政無線（同報系）が津波により被災した。

⇒通信ツールの強化

（衛星携帯電話、PHS）の各機関への新規設置

⇒防災行政無線の子局数を46台から113台に

【避難所の運営】

- ・14カ所を指定避難所とし、4,200人を収容可能としていたが、実際には約8,700人の避難があったこと。
- ・避難所は住民主体となった運営に移行することになっていたが、円滑にできない避難所があった。
- ・女性のプライバシー確保や災害弱者のベッドの使用等、避難場所内で配慮が必要。
- ・ペット帯同避難者はペット同室の希望が多かった。

⇒指定避難所を14カ所から20カ所に増設、収容可能数を4,200人から8,771人に増。

⇒女性用控室、災害弱者一時専用室、ペット対応場所の新設。

【食料・生活用品の供給対策】

- ・第三次想定での避難者数
3,200名を基本に備蓄していたが、大幅に上回る避難者が発生し、非常食糧や毛布が不足した。
- ・停電により非常用発電機が必要になったが、台数、燃料も不足した。
- ・非常食糧を中心に備蓄していたが、高齢者や子供、女性、乳児の生活用品の要望が多かった。
- ・在宅避難者への支援の方法。

⇒指定避難所の収容可能人数の増に合わせて、飲料水・食料品等の備蓄を増加

⇒集会所防災設備（発電機・ライト等）の整備を48カ所実施

市民向けに『防災ガイドブック』・『津波避難マップ』を作成し、配布をし、防災に備えている。



○塩竈市震災復興計画の一環としての道路整備事業

「安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくり」の一環としての事業も進めています。

地盤沈下による浸水対策として道路をかさ上げ、災害時の緊急輸送路、避難路としての機能を強化する事業です。



○震災の風化をさせない工夫



震災を風化させないように、街の至る所に東日本大震災時の“浸水深”の掲示が行われています。

○参考：直近発生地震（2019.8.4 震度4発生後の大樹生命塩釜営業部の影響



いつ起こるか分からない震災に向けて、当営業部でも設備・備品の固定や災害時の対応を再度整備する必要があると感じました。



○塩竈市は日々復興に向けて元気になっていきます！震災を風化させないように、そしてこれからも明るく元気な街へ！

■ 5分間情報

二宮 登

地球温暖化で超大型台風、食糧不足が発生！

・日本の台風の将来予測

台風は将来的に発生数は減少し、従って日本に来る台風数も減少するが、超大型台風が発生するという研究がある。

・地球温暖化

温暖化は熱波、干ばつ、砂漠化、山火事、永久凍土の溶解、水不足などを引き起こし、食糧不足や飢餓へのリスクが高まる。

将来は熱波が増え、地中海沿岸や西アジア、南米なども干ばつが増えると予測。

これらは令和元年神奈川県地球温暖化防止活動推進員基礎研修で学びました。旭 RC でも地球温暖化防止活動を出来ることからスタートしてはどうでしょうか。

■ クラブ管理運営委員会

北澤 正浩

9月18日の体験例会で外部卓話を行ないませんが、現在のところ卓話者が決まっておりません。皆様の中で卓話者の心当たりがございましたらお知らせください。よろしく願いいたします。

■ ニコニコ BOX (会員敬称略)

佐藤 真吾 / 本日は吉原さんの終戦記念卓話です。吉原さんよろしく願いします。

大川 伸一 / 吉原さん、本日の卓話を楽しみにしております。

吉原 則光 / 今日の卓話、横浜大空襲を知る数少ない一人として大変光栄です。冊子の空襲の写真を振り返っていただければ幸いです。よろしく願いします。

安藤 公一 / ①吉原さん、終戦記念卓話宜しくお願い致します。②ラグビーワールドカップ開幕まであと1ヶ月を切りました。応援よろしく願いします！

兵藤 哲夫 / 吉原さん、卓話楽しみです。マッカーサーが厚木飛行場に降りて、私は小学校にはいりました。昭和、平成、令和と時代を重ねました。戦争のない良き時代でした。

五十嵐 正 / 吉原さんの終戦記念卓話、楽しみにしております。よろしく願いします。

北澤 正浩 / 吉原さんの終戦記念卓話、貴重なお話、聞かせていただきます。

目黒 恵一 / ①皆出席お祝いを頂き感謝！②吉原さん、卓話よろしく願いします。

二宮 登 / 吉原さん、今日の卓話楽しみにしています。

二宮麻理子 / ①吉原さん、本日の卓話よろし

くお願い致します。②皆出席祝いをいただきまして有難うございます。

太田 勝典 / 吉原さん、卓話楽しみです。

斎藤 善孝 / 吉原さん、本日の卓話楽しみです。

佐藤 利明 / ①吉原さん、終戦記念卓話よろしく願いします。②毎日暑い日が続いている中、全国高校野球の熱戦を楽しんでいます。

関口 友宏 / 皆出席賞ありがとうございます。

田川 富男 / ①皆出席を頂きまして有難うございます。②吉原さん、終戦記念卓話よろしく願いします。

内田 敏 / 吉原さん、本日の卓話楽しみにしています。

岡田 隆 / 吉原さん、卓話楽しみにしています。よろしく願いします。

柳沢 哲也 / 取引先のドライブレコーダー製造会社が特需となっています。あおり運転事件の影響ですが、人災から守る為であり、少し淋しいもんですね。

■ 終戦記念卓話

「私の5.29と8.15そしてマッカーサー」

吉原 則光

○昭和20年5月29日



1945年(昭和20年5月29日)晴
当時中学3年生で、綱島(港北区)の安立電気横浜工場で勤労働員の生徒として、飛行機の通信器の制作に従事していました。朝から警戒警報は出てましたが、平常通りに作業に取りかかりました。間もなく空襲警報発令(8:12)で裏山の大きな防空壕に避難して、うす暗い電燈の下で2時間余り待機していました。やがて空襲警報解除(10:20)と共に外に出て横浜方面の空を見ると、火柱が立ち黒煙につつまれているのに大ショック。横浜市内は全部焼けてしまったのではないかと大変な不安でした。

正午過ぎ帰宅命令が出て全員東横線に沿って白楽まで来たところ以下の様な状況でした。まだ延焼中の所、焼跡になってしまった地域、火粉の上がっているところ、もうもうとした黒煙、熱風の吹いている道路など…。熱風や黒煙をあびてしまい目鼻喉の痛み、全身が火傷したような感じ、息苦しさなど…まさに言語に絶する状態でこの世の地獄を通り抜けたような気持で夕方近くやっとのことで家にたどりついた長い長い一日でした。生涯忘れることの出来ない戦争体験です。

- ・横浜大空襲の特長
- ・B29 500機、P51 100機の大編隊による空襲
- ・昼間低空からの焼夷弾の投下
- ・5つの平均弾着点（目標）を定めての無差別・波状攻撃を徹底的に行った。

○昭和20年8月15日

「ただいまより重大な放送があります」と日本放送協会（NHK）和田アナウンサーの司会で始まる玉音放送でした。天皇陛下のお言葉は良く聴き取れず唯「…堪へ難キヲ堪へ忍ヒ難キヲ忍ヒ」（詔書17行目）の語句だけが良く聞き取れたと言う生徒が多かったようです。

職場に戻ってからの感想・思い。

- ・くやし涙で大声でさげんだ生徒
- ・ぼうぜんとして無表情で言葉の出ない生徒
- ・ホッとした思いの生徒

帰りの電車の乗客の様子も唯無言、ぼうっとしていた。

電車の車両の音のみ。（東横線、相鉄線）

○昭和20年8月16日～29日

- ・生桑検査所から軍の物資を搬出する作業（4日間）

- ・津久井へ逃げる（疎開）
- ・殺される不安や恐怖で戦戦兢兢として家の中に引きこもっていた。

○昭和20年8月30日

マッカーサー厚木に上陸する。

厚木から横浜へのコース

厚木飛行場→長後・福田→戸塚→保土ヶ谷→洪福寺前→浜松町→高島町→桜木町駅前→本町通り→海岸通り→ニューグランドホテル

25台の乗用車と10台のトラックで午後3時横浜に向けて出発。50米間隔で進み列の長さは1500米にも及んだ。沿道は警察官と憲兵が警備にあたった。しかし人影はなく民家は皆戸を閉めてひっそり

としていた。戸塚では道端にいずれも正気なくぼんやりした表情の男の子がかたまっていた行列を見ていた。



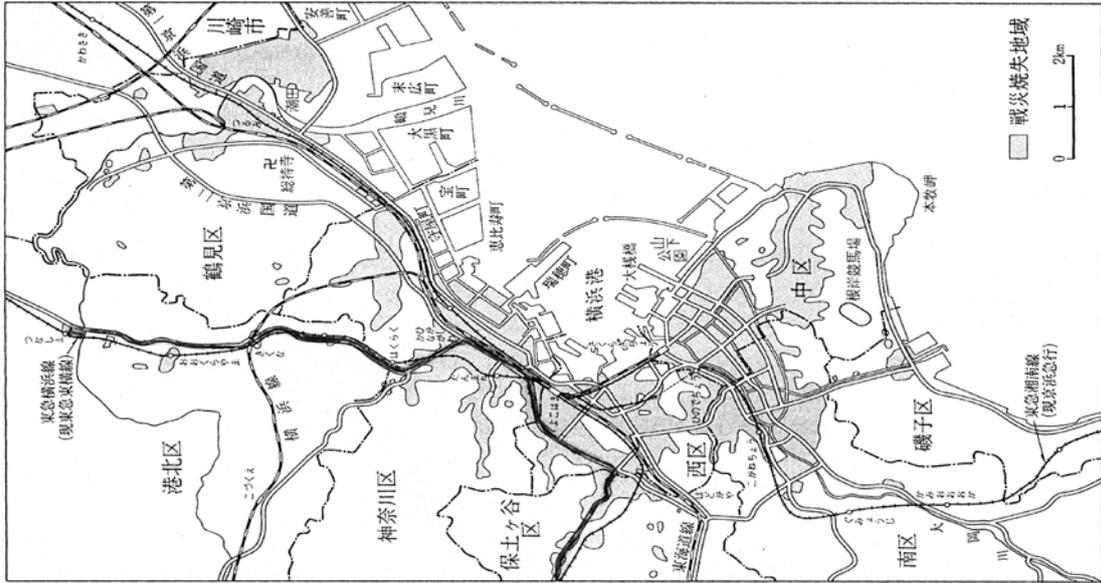
（左）に波状を開始するB29 500機の大編隊（昭和20年5月29日、横浜上空）



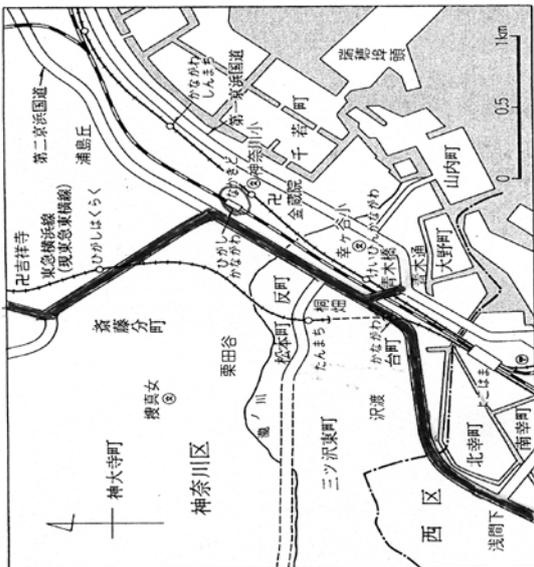
▲炎上する青木橋付近（1945年5月29日） 菊池俊吉氏撮影



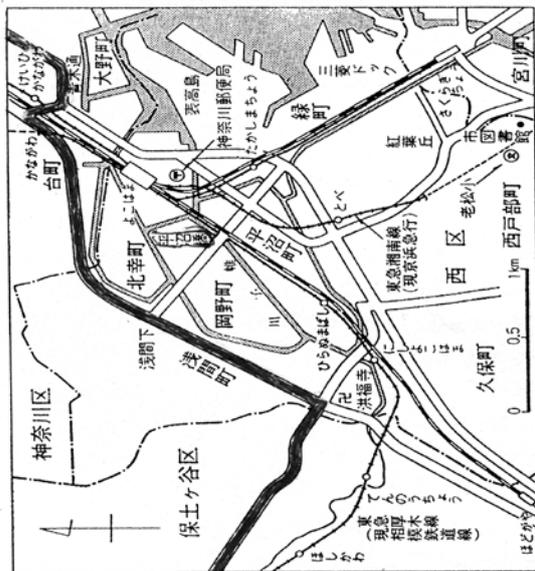
ホテル・ニューグランド前の警備兵
—原島真一氏提供—



「横浜戦災状況図」(44.8.複製)から作成。第4章挿入の地図はすべて同図による



東神奈川駅(第1平均弾着点)周辺



平沼橋(第2平均弾着点)周辺

【引用した書名】

- ・横浜の空襲と戦災①～⑥ 横浜の空襲を記録する会
- ・大空襲5月29日—第二次大戦と横浜 今井春一著
- ・配線の哀歌 東野伝吉・奥村泰宏 有隣堂
- ・マッカーサーの見た焼跡 文芸春秋社
- ・ちんちん電車ハマツ子の足 70年 横浜市交通局

たくさんの看視船から高射砲を盛んに打っている。

川島さんは緑町ドック倉庫と共立倉庫の間の堀割にもやっていたはしけへ逃げたが、ダメですぐ引き返し、内買棧橋へ行く広い道路へ出ると、道路の両側にあった自動車が盛んに燃えている。内買一号棧橋、二号棧橋の方のたくさんの倉庫も燃えている。もうダメだ、これでおしまいだ、何とか生きのびねばと、皆と一緒に東横線の高島町駅へ逃げた。そこには強制疎開をしたあとの広場があったので、逃げて来た人で一ぱいだった。川島さんは同僚と二人でわりあい広い通りへ出た。

人の波が一斉に西に向って走っていたのを覚えています。空は真暗で、すごい突風と火事の火が走っていて、空には大きな鉄板がいくつも飛んでいました。火こ

あぶられてあつてあつて、防空頭巾がこげそうでした。直撃はくわなかったものの、ここで焼き殺されてはと悲憤な気持ちで走りました。この空襲で一番恐ろしかったのはこの時だったと思います。

小学校では最初に講堂に火が入ってしまった。
 押尾氏はSさんと消しにかかったが火勢が強く、
 あきらめて京浜急行の土手下へと急いだ。朝のうちは全くの無風状態であったが、火の手が上ると同時に西北の方から海の方に向けて強風が吹きつり始めた。悪魔が風に乗って叫びまわると、風は火を呼び、火は風を呼んでまんじ巴となって狂い始めた。
 早出した女学校から警報で帰宅を命じられた小野静枝さんは、東神奈川駅で空襲に遭った。駅員の待避の声で防空壕に飛び込むと、少し前まで座っていた国電の窓が火を吐いている。「西側も北側もズズン、ズズンとうなりをあげて、黒煙が立ち上がり、天を染く屏風が立てられたようである」。爆弾だと思ったというが、大型焼夷弾だったのであろう。
 突然、頭上で異様な音がした。ちやうど夕立を思わせるザザーツという音である。……間もなくアスファルトの道路に沢山の筒状のものが、重そうにボトン、ボトンと落ち始めた。非常に大きなものに見えたそれらは、必ず地上に当たると生きもののようににはねあがって（その高さは私の背丈程もとび上がる）再び落ちる。そしてその時はドロドロと何か液体を吐き散らす。吐き出されたその液体はドロリとしていて、コンクリートといわず、柱といわずへばりついて、アツという間に燃え出す。広い道路のあちこちに火の地図を描き出した。……私の足元にも何本かが響きを立てて落ちた。おおよそ壘一枚に三本から五本位の密度であったと思う。これが焼夷弾であった。

143

こちらは小型のM69焼夷弾である。ザザーツと音がするたびに本能的に軒から軒へと飛び込むように逃げたが、とうとう火に包まれた。その時、幸いにも木仏さんのような青年が現れて、手をとって火と煙の渦巻く中に突っ込み、突っ切ってくれた。長い時間のもうでもあり、一瞬のもうでもあったが、突然広いところに出た。向こうに黒く固まる群れは、何千という罹災者の群れだった。

144

中は、松本通りから反町にかけて焼死体がごろごろと散乱し、共同防空壕などのなかで多くの人が窒息死しているとのことだった。

神橋国民学校の警備大隊 東神奈川から東北にはいった神橋国民学校には、独立警備歩兵第一四大隊が本部をおいていた。中川福栄大隊長が台地の上から見ていると、

午前九時ごろ一七機とも見られるB29第一波の大編隊は、鉄道線路に進行基準をとったように、西南方向から進入して、両側の市街地に無数の焼夷弾を雨と降らし、ゆうゆうと過ぎて行った。たちまち炎上する市街地のうえに、しばらくのまを置いて、第二波、第三波、第四波と、戦火の隙間を補足し、さらに区域を拡大して、それは、徹底した無差別じゆうたん焼夷弾攻撃だった。部隊は山手で無事だったが、一面火の海となった市街地には、今や立入りも考えられず、防火も援助も、全く手の施しようがない。……空襲が去って二時間ぐらいのうちには、ほとんど市街地は燃えつきて、台地の稜線から一望すれば、いちめんの焼野原となってしまう。

中川大隊長は直轄の一個中隊を連れて、東神奈川駅付近に進出し、ガートの西口のところに救護本部を置き、ます駅の両側の焼死者の収容搬出に協力した。「西側の一帯は山手に近かったから、いち早く台地のほうに避難ができたときみえて、駅の庭に近く五、六体の焼死体があるだけだったが、線路をこえて東口にまわってみると、これは意外におびただしい数の焼死者で、それは全く惨憺たるものだった」。防火用水池に浮いているものをあわせて、東口一帯の焼死体はおおよそ八〇体近くにのぼっていた。部隊の兵たちは、散在する焼けトタンを応急の担架とし、数人ひと組となって、これらの焼死体を拾いあげ、一〇〇体近くのを、近くのお寺の境内に運び入れた。

神奈川国民学校でも多数の死者をだした。同校は鉄筋コンクリート造りで、「軍隊がいたんですが、……当日は兵隊が皆、神奈川小へ避難誘導したんですが、それがアタになりましてね、煙にまかれてみんなむし焼きですよ。何百人という人が死んだでしょうね」と同区の河合部一医師は語っている。

145

146

2019-20 年度 横浜旭ロータリークラブ 第 5 回理事会議事録

令和元年 8 月 7 日 例会終了後

場所：例会場

出席者：佐藤真吾、市川慎二、田川富男、北澤正浩、安藤公一、新川尚、
二宮麻理子、目黒恵一、二宮登（オブザーバー）

【審議事項】

1. 講演会「気候変動と防災」について：
 - ・今回の講演会の提案者である二宮登さんに別添企画書の内容を説明していただき、承認。
 - ・タウンニュースへは会長から連絡し、掲載時期の相談と見積り依頼。
 - ・広報用のチラシを 9/14（土）～16（月・祝）に開催される「第 5 回よこはま旭区落語・演芸祭り」で配布したらどうか（目黒さん）

【報告事項】

1. 各委員会から活動の進捗状況報告：
 - ・クラブ管理運営委員会
体験例会の卓話者が決まっていないので、どなたか良い方がいれば推薦してほしい。（候補者としてラグビー清宮克幸氏の名前が挙がる）
 - ・公共イメージ委員会
先々週の公共イメージフォーラムでのアンケートを集計中。集計後に委員会を開催予定。
 - ・奉仕プロジェクト委員会
青少年奉仕／神奈川県立看護福祉高等学校インターアクトクラブ設立を 9 月中を目指して調整する。
社会奉仕／会長からあさひふれあい区民まつりで畠山重忠公に因んだ甲冑を身に着けてのイベントを行いたいとの提案あり。旭区役所には下話をしてあるとの事で、企画書を会長が取り纏めて委員会へ報告する。
 - ・米山記念奨学委員会
10/2 米山月間フォーラムは 10/9 に変更。卓話者は米山奨学生馮博君。
 - ・災害対策委員会
10/9 に横浜地方気象台中根調査官の講演会を予定。（審議事項の通り）
 - ・創立 50 周年記念事業実行委員会
記念式典の招待者をリストアップ中。

2019年度7月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	安藤公一	100	0	100	21	佐藤利明	-出席規定免除-		
2	青木邦弘	100	0	100	22	関口友宏	100	0	100
3	福村正	100	0	100	23	宋謹衣	50	50	100
4	兵藤哲夫	-出席規定免除-			24	田川富男	100	25	125
5	市川慎二	100	0	100	25	内田敏	-出席規定免除-		
6	五十嵐正	100	0	100	26	柳沢哲也	100	0	100
7	北澤正浩	100	0	100	27	吉原則光	-出席規定免除-		
8	今野丁三	-出席規定免除-			28				
9	倉本宏昭	-出席規定免除-			29				
10	増田嘉一郎	100	0	100	30				
11	目黒恵一	100	0	100	31	高梨昌芳	名 誉 会 員		
12	新川尚	100	50	150	32	矢田昭一	名 誉 会 員		
13	二宮麻理子	100	0	100	33				
14	二宮登	100	0	100	34				
15	大川伸一	100	0	100	35				
16	太田勝典	-出席規定免除-			36				
17	岡田隆	100	0	100	37				
18	齋藤善孝	75	0	75	38				
19	佐藤二郎	100	0	100	39				
20	佐藤真吾	100	25	125	40				
例会日	3日	10日		17日		24日		平均	
例会出席率	$\frac{24}{24}$ 100%	$\frac{24}{25}$ 96%	$\frac{22}{24}$ 91.67%	$\frac{22}{23}$ 95.65%					
修正出席率	$\frac{24}{24}$ 100%	$\frac{25}{25}$ 100%	$\frac{24}{24}$ 100%	$\frac{22}{23}$ 95.65%					98.91%

■次週の卓話

9/4 ガバナー補佐訪問 クラブ協議会

週報担当 五十嵐 正